



Electric Coffee Mill CAPSULE

電動コーヒーマル・カプセル

取扱説明書 保証書付

お買いあげ誠にありがとうございます。
正しくご使用していただくため、ご使用前に
この取扱説明書を必ずお読みください。
また、本書は保証書が付属しておりますので
お読みになりましたら、大切に保管してください。












目次

ご使用前の前に	1
安全上のご注意	1~2
各部の名称	3
ご使用になる前に	3
ご使用方法	4
お手入れの方法	5
故障かなと思ったら	5
仕様・アフターサービス	6
保証書	7

ご使用の前に

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や、損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  =  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の例では感電注意)が描かれています。
例  +  =  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容(左図の例では分解禁止)が描かれています。
例  +  =  電源プラグをコンセントから抜いてください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

安全上のご注意

感電・やけど・火災・故障などを防ぐために、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 **警告**

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



 **警告**

本体を水につけたり、水滴のかかる場所・状態では使用しないでください。感電・破損の原因になります。



 **警告**

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。感電・けがをすることがあります。



 **警告**

ふたを外した状態で運転させないでください。カッターを露出したままで運転するとけがをすることがあります。



 **警告**

本製品を使用していないとき、コーヒーの取り出し、お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。けがの原因になります。



 **警告**

定格時間以上の使用はしないでください。発熱や発火、故障の原因となります。



安全上のご注意

⚠ 警告

電源コードや電源プラグがいたんでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



⚠ 警告

電源プラグのほこりなどは、定期的に取りってください。プラグにほこりがたまるとう湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



⚠ 警告

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。



⚠ 警告

交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因になります。



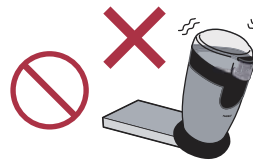
⚠ 注意

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



⚠ 注意

不安定な場所では使用しないでください。けが、故障の原因になります。



⚠ 注意

本体容器に規定以上のコーヒー豆を入れすぎないようにしてください。



⚠ 注意

このミルで焙煎したコーヒー豆以外のものを挽いたり、調理以外の用途に使用しないでください。故障の原因になります。



⚠ 注意

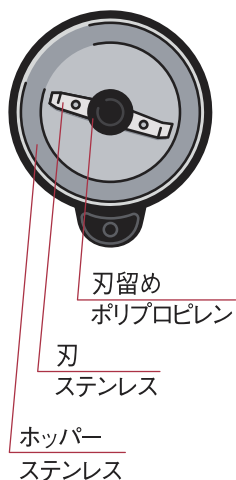
カッターは鋭利ですので直接手で触れないでください。けがの原因になります。



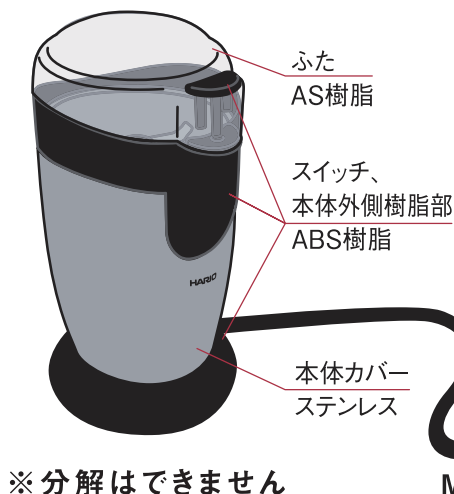
各部の名称

ご使用前に内容物をご確認ください。

本体内側

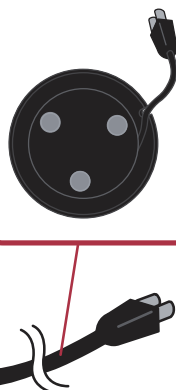


全体図



電源コード

収納時は本体底部に
巻きつけて収納できます

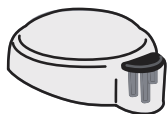


MADE IN CHINA

ご使用になる前に

本製品をご使用になる前に必ず下記のことを行なってください。

ふた



ふたを本体から外し、ぬるま湯で洗ってください。洗浄後、ふたは完全に乾かしてください。

△ 注意

- ・クレンザーなどの研磨材入りの洗剤はふた表面を傷つける原因となります。使用しないでください。
- ・食器洗い乾燥機は使用できません。樹脂部分が変形する原因となります。

本体



本体を乾いた柔らかい布で拭いてください。

△ 注意

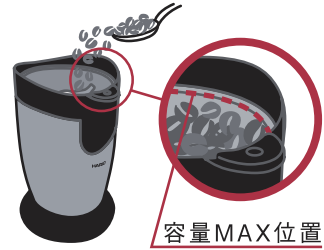
- ・必ず電源プラグを抜いた状態で行なってください。
- ・カッター部分で手を切らないように注意してください。
- ・本体は水をかけたり、水の中に入れてたりしないでください。

ご使用方法

1

ふたを取り外し、コーヒー豆をホッパーに入れます。一度に入れられるコーヒー豆の量は最大30g(豆の種類により若干差があります)です。ティースプーンの場合、山盛り3杯がコーヒー1杯分(約10~12g)です。

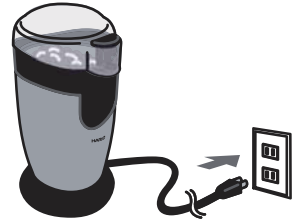
- ⚠ コーヒー豆はホッパーより溢れないようにしてください。
- ⚠ 焙煎したコーヒー豆以外の物を入れないでください。



2

本体にふたをセットします。ふたが本体にきちんとセットされていることを確認してください。電源プラグを差し込みます。

- ⚠ 水平で安定した場所で作業をしてください。



3

ふた上部のスイッチを押します。そのとき片方の手でミル本体を支えてください。

- ⚠ このミルの連続使用可能時間は最大30秒間です。それ以上の連続使用はモーター故障の原因となりますのでおやめください。
- ⚠ コーヒー粉の粗さの調節はスイッチを数回に分けて押し、お好みの粗さに調節してください。
- ⚠ 続けてご使用になる場合は10~15分時間を置いてからご使用ください。



4

刃の回転が停止したら、電源プラグを抜き、ふたを取り外し、挽いたコーヒー粉を取り出します。

- ⚠ 電源プラグをコンセントから抜いてから挽いたコーヒー粉を取り出してください。
- ⚠ ふたを外す際には、コーヒー粉が飛び散らないよう、注意してください。
- ⚠ 余ったコーヒー粉は密閉容器に入れて保存してください。



お手入れの方法

末永くご使用いただくためお手入れをしましょう。

⚠ 電源プラグをコンセントから抜いてから以下の作業を行ってください。

本体のクリーニング

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ふたを本体から外します。
3. 乾いた柔らかい布で、本体に残ったコーヒー粉を完全に取り除きます。
4. その後外側、内側の汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

- カッター部で手を切らないように注意し、お手入れを行ってください。
- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布で拭き取ってください。
- 丸洗いやシンナー・アルコール・ベンジン・有機溶剤・研磨材入りの洗剤の使用はおやめください。
- 水をかけたり、水の中に入れてしないでください。
- 金属部分は銀製品やアルミ製品等の異なった金属製品と接触したまま置くとサビの原因になりますので、ご注意ください。

ふたのクリーニング

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ふたを本体から外します。
3. 薄めた中性洗剤とやわらかいスポンジで水洗いしてください。
4. ふたが完全に乾いてから本体に戻してください。

⚠ 注意

- クレンザーなどの研磨材入り洗剤はふた表面を傷つける原因となります。使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機は使用しないでください。変形する原因となります。

故障かな?と思ったら

次の点をチェックしましょう。

⚠ フタを外しての確認の際は電源プラグをコンセントから抜いてから確認を行ってください。

こんなときは	原因	直しかた
スイッチを入れても回転しない。	電源プラグが抜けている。	電源プラグを差し込む。
	ふたが本体にしっかりセットされていない。	ふたと本体をしっかりとセットする。
挽いたコーヒー粉が本体、ふたの隙間から飛び散る。	コーヒー豆の量が多い。	コーヒー豆の量を減らす。
コーヒー豆が均等に挽けない。	カッター式のコーヒーミルの場合、挽いたコーヒー粉が均等にならないことは異常ではありません。	スイッチを一度止め、本体を軽くゆすってから再びスイッチを入れる。コーヒー豆がまんべんなく広がり、より均等な細かさに挽くことができます。
カッターの調子がおかしい。	本体内側が汚れている。	5ページ「お手入れの方法」に記された方法にしたがって本体をクリーニングする。特にカッターを固定している中央の軸をきれいにしてください。

仕様

電 源	AC100V 50Hz/60Hz共用
定格消費電力	120W
定格時間	連続運転30秒
定格容量	30g
サ イ ズ	幅102×奥行112×高さ184 (mm)
コード長さ	0.85m
総 重 量	0.7kg

アフターサービスについて

保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買いあげ販売店で「販売店名・お買いあげ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買いあげ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

必ず当社フリーダイヤルまでご一報の上、製品に保証書を添えて下記までご送付ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。当社フリーダイヤルまでご連絡ください。

修理用部品の最低保有期間

当社は電動コーヒーマイル・カプセルの補修用部品を製造打ち切り後、最低5年保有しています。

製品についてのお問い合わせ先

HARIO株式会社

〒103-0006東京都中央区日本橋富沢町9-3

フリーダイヤル:0120-39-8208

<http://www.hario.com>